

(1) 貸借対照表
平成23年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1.流動資産			
現金預金	3,775,544	5,536,878	△ 1,761,334
未収収益	0	10,082	△ 10,082
前払金	620,761	1,012,904	△ 392,143
流動資産合計	4,396,305	6,559,864	△ 2,163,559
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	581,486,008	581,783,347	△ 297,339
預金	4,838,967	4,541,628	297,339
基本財産合計	586,324,975	586,324,975	0
(2) 特定資産			
仁科記念奨励基金			
投資有価証券	20,357,901	30,045,004	△ 9,687,103
預金	9,000,000	4,000,000	5,000,000
特定資産合計	29,357,901	34,045,004	△ 4,687,103
(3) その他の固定資産	0	0	0
固定資産合計	615,682,876	620,369,979	△ 4,687,103
資産合計	620,079,181	626,929,843	△ 6,850,662
II 負債の部			
1.流動負債			
未払金	478,935	5,713,188	△ 5,234,253
預り金	11,377	0	11,377
流動負債合計	490,312	5,713,188	△ 5,222,876
2.固定負債	0	0	0
負債合計	490,312	5,713,188	△ 5,222,876
III 正味財産の部			
1.指定正味財産	586,324,975	586,324,975	0
(うち基本財産への充当額)	(586,324,975)	(586,324,975)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
2.一般正味財産	33,263,894	34,891,680	△ 1,627,786
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(29,357,901)	(34,045,004)	(△ 4,687,103)
正味財産合計	619,588,869	621,216,655	△ 1,627,786
負債及び正味財産合計	620,079,181	626,929,843	△ 6,850,662

(1) 正味財産増減計算書
平成22年4月1日から平成23年3月31日まで

		(単位:円)		
科 目	当 年 度	前 年 度	増 減	
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 基本財産運用益	(7,514,135)	(9,624,942)	(△ 2,110,807)	
基本財産受取利息	7,514,135	9,624,942	△ 2,110,807	
② 特定資産運用益	(54,709)	(99,793)	(△ 45,084)	
特定資産受取利息	54,709	99,793	△ 45,084	
③ 受取会費	(4,030,000)	(4,230,000)	(△ 200,000)	
賛助会費受取会費	4,030,000	4,230,000	△ 200,000	
④ 受取寄付金	(7,600,000)	(6,100,000)	(1,500,000)	
受取寄付金	7,600,000	6,100,000	1,500,000	
⑤ 雑収益	(15,565)	(33)	(15,532)	
雑収益	15,565	33	15,532	
経常収益 計	19,214,409	20,054,768	△ 840,359	
(2) 経常費用				
① 事業費	(13,428,573)	(23,077,253)	(△ 9,648,680)	
助成事業費	(9,965,613)	(20,096,890)	(△ 10,131,277)	
特別研究助成金	1,000,000	1,000,000	0	
仁科記念講演会費	77,587	300,000	△ 222,413	
仁科記念奨励金	4,625,919	14,630,512	△ 10,004,593	
役員報酬	600,000	1,100,000	△ 500,000	
給料手当	0	1,750,000	△ 1,750,000	
業務委託料	1,747,500	0	1,747,500	
会議費	78,953	123,730	△ 44,777	
旅費交通費	611,575	228,550	383,025	
通信運搬費	185,914	152,572	33,342	
消耗品費	28,141	75,738	△ 47,597	
賃借料	206,615	338,127	△ 131,512	
諸謝金	229,977	229,000	977	
雑費	573,432	168,661	404,771	
助成以外事業費	(3,462,960)	(2,980,363)	(482,597)	
仁科記念文庫費	5,555	0	5,555	
研究関連出版物刊行費	142,485	226,380	△ 83,895	
受賞者交流会	1,000,000	0	1,000,000	
顕彰費支出	600,000	0	600,000	
給料手当	796,900	774,150	22,750	
福利厚生費	0	2,910	△ 2,910	
旅費交通費	275,590	262,230	13,360	
賃借料	200,000	200,000	0	
雑費	442,430	1,514,693	△ 1,072,263	
② 管理費	(7,413,622)	(5,975,846)	(1,437,776)	
役員報酬	600,000	1,100,000	△ 500,000	
給料手当	0	2,305,700	△ 2,305,700	
業務委託料	1,747,500	0	1,747,500	
福利厚生費	3,211	7,401	△ 4,190	
諸謝金	218,000	0	218,000	
会議費	512,777	726,568	△ 213,791	
旅費交通費	1,136,935	706,730	430,205	
通信運搬費	341,340	107,496	233,844	
消耗品費	137,447	67,651	69,796	
印刷製本費	324,764	213,307	111,457	
賃借料	206,615	212,128	△ 5,513	
雑費	2,185,033	528,865	1,656,168	
経常費用 計	20,842,195	29,053,099	△ 8,210,904	
当期経常増減額	△ 1,627,786	△ 8,998,331	7,370,545	

2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益 計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用 計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 1,627,786	△ 8,998,331	7,370,545
一般正味財産期首残高	34,891,680	43,890,011	△ 8,998,331
一般正味財産期末残高	33,263,894	34,891,680	△ 1,627,786
II 指定正味財産増減の部			
基本財産運用益	7,514,135	9,624,942	△ 2,110,807
一般正味財産への振替額	△ 7,514,135	△ 9,624,942	2,110,807
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	586,324,975	586,324,975	0
指定正味財産期末残高	586,324,975	586,324,975	0
III 正味財産期末残高	619,588,869	621,216,655	△ 1,627,786

(3) 財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 公益法人会計基準（公益法人等の指導監督等に関する関係省庁連絡会議申合せ 平成 16 年 10 月 14 日）を採用している。
- (2) 有価証券の評価基準及び評価方法について
すべて満期保有目的の債券として償却原価法（定額法）を採用している。
- (3) 消費税の処理について
消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 会計方針の変更

なし。

3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	581,783,347	20,019,000	20,316,339	581,486,008
預 金	4,541,628	4,838,967	4,541,628	4,838,967
小 計	586,324,975	24,857,967	24,857,967	586,324,975
特定資産 (仁科記念奨励基金)				
投資有価証券	30,045,004	10,363,400	20,050,503	20,357,901
預 金	4,000,000	9,000,000	4,000,000	9,000,000
小 計	34,045,004	19,363,400	24,050,503	29,357,901
合 計	620,369,979	44,221,367	48,908,470	615,682,876

4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	うち指定正味財産からの充当額	うち一般正味財産からの充当額	うち負債に対応する額
基本財産				
投資有価証券	581,486,008	581,486,008	0	0
預 金	4,838,967	4,838,967	0	0
小 計	586,324,975	586,324,975	0	0
特定資産 (仁科記念奨励基金)				
投資有価証券	20,357,901	0	20,357,901	0
預 金	9,000,000	0	9,000,000	0
小 計	29,357,901	0	29,357,901	0
合 計	615,682,876	586,324,975	29,357,901	0

5. 担保に供している資産はない。

6. 保証債務はない。

7. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	帳 簿 価 額	時 価	評 価 損 益
基本財産			
第 93 回利付国債	20,018,209	20,027,600	9,391
第 816 回政府保証公営企業債	40,048,529	40,578,000	529,471
第 859 回政府保証公営企業債	40,000,000	41,843,200	1,843,200
第 629 回東京都公募公債	30,430,992	31,232,700	801,708
第 521 回東京電力社債	100,988,278	100,851,000	△137,278
三井住友銀行社債	100,000,000	100,321,000	321,000
スウェーデン輸出信用銀行社債	150,000,000	120,927,000	△29,073,000
三菱セキュリティーズ インターナショナル社債	100,000,000	81,153,000	△18,847,000
小 計	581,486,008	537,033,500	△44,552,508
特定資産 (仁科記念奨励基金)			
第 279 回利付国債	10,001,108	10,000,800	△308
第 625 回東京都公債	10,356,793	10,384,000	27,207
小 計	20,357,901	20,384,800	26,899
合 計	601,843,909	557,418,300	△44,525,609

8. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
基本財産運用益計上による振替額	7,514,135
合 計	7,514,135

9. 注記すべき関連当事者との取引はない。

10. 重要な後発事象はない。

(4) 財産目録
平成23年3月31日現在

(単位:円)

科 目	金 額	
I 資産の部		
1. 流動資産		
現金預金		
現金 現金手許有高	221,731	
普通預金 みずほ銀行駒込支店他1口	3,394,095	
振替口座 ゆうちょ銀行小石川店	159,718	
前払金 平成23年度事務所貸室料	620,761	
流動資産合計		4,396,305
2. 固定資産		
(1) 基本財産		
投資有価証券		
利付国債	20,018,209	
政府保証債	80,048,529	
地方債	30,430,992	
事業債	200,988,278	
円建外債	250,000,000	
預 金		
定期預金 三菱東京UFJ銀行駒込支店	4,838,967	
基本財産合計	586,324,975	
(2) 特定資産		
仁科記念奨励基金		
投資有価証券		
利付国債	10,001,108	
地方債	10,356,793	
預 金 みずほ銀行駒込支店	9,000,000	
特定資産合計	29,357,901	
(3) その他の固定資産	0	
固定資産合計		615,682,876
資産合計		620,079,181
II 負債の部		
1. 流動負債		
未払金		
平成23年3月分業務委託料他	478,935	
預り金		
平成23年3月分所得税	11,377	
流動負債合計		490,312
2. 固定負債		0
負債合計		490,312
正味財産		619,588,869

(5) 収支計算書
平成22年4月1日から平成23年3月31日まで

(単位:円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
① 基本財産運用収入	(9,900,000)	(7,514,135)	(2,385,865)	
基本財産利息収入	9,900,000	7,514,135	2,385,865	
② 特定資産運用収入	(80,000)	(54,709)	(25,291)	
仁科記念奨励基金利息収入	80,000	54,709	25,291	
③ 会費収入	(4,200,000)	(4,030,000)	(170,000)	
賛助会員会費収入	4,200,000	4,030,000	170,000	
④ 寄付金収入	(6,000,000)	(7,600,000)	(△ 1,600,000)	
寄付金収入	6,000,000	7,600,000	△ 1,600,000	
⑤ 雑収入	(0)	(15,565)	(△ 15,565)	
雑収入	0	15,565	△ 15,565	
事業活動収入 計	20,180,000	19,214,409	965,591	
2. 事業活動支出				
① 事業費支出	(18,380,000)	(13,428,573)	(4,951,427)	
助成事業費支出	(13,500,000)	(9,965,613)	(3,534,387)	
特別研究助成金支出	1,500,000	1,000,000	500,000	
仁科記念講演会費支出	300,000	77,587	222,413	
仁科記念奨励金支出	7,000,000	4,625,919	2,374,081	
諸謝金支出	100,000	229,977	△ 129,977	
役員報酬支出	1,100,000	600,000	500,000	
給料手当支出	2,000,000	0	2,000,000	
業務委託料	0	1,747,500	△ 1,747,500	
会議費支出	200,000	78,953	121,047	
旅費交通費支出	400,000	611,575	△ 211,575	
通信運搬費支出	100,000	185,914	△ 85,914	
消耗品費支出	150,000	28,141	121,859	
賃借料支出	350,000	206,615	143,385	
雑費支出	300,000	573,432	△ 273,432	
助成以外事業費支出	(4,880,000)	(3,462,960)	(1,417,040)	
仁科記念文庫費支出	300,000	5,555	294,445	
研究関連出版物刊行費支出	1,200,000	142,485	1,057,515	
給料手当支出	800,000	796,900	3,100	
福利厚生費支出	30,000	0	30,000	
旅費交通費支出	250,000	275,590	△ 25,590	
賃借料支出	200,000	200,000	0	
受賞者交流費	1,000,000	1,000,000	0	
顕彰費支出	600,000	600,000	0	
雑費支出	500,000	442,430	57,570	
② 管理費支出	(7,070,000)	(7,413,622)	(△ 343,622)	
役員報酬支出	1,100,000	600,000	500,000	
給料手当支出	2,300,000	0	2,300,000	
業務委託料	0	1,747,500	△ 1,747,500	
福利厚生費支出	70,000	3,211	66,789	
諸謝金支出	0	218,000	△ 218,000	
会議費支出	900,000	512,777	387,223	
旅費交通費支出	850,000	1,136,935	△ 286,935	
通信運搬費支出	350,000	341,340	8,660	
消耗品費支出	150,000	137,447	12,553	
印刷製本費支出	300,000	324,764	△ 24,764	
賃借料支出	250,000	206,615	43,385	
雑費支出	800,000	2,185,033	△ 1,385,033	
事業活動支出 計	25,450,000	20,842,195	4,607,805	
事業活動収支差額	△ 5,270,000	△ 1,627,786	△ 3,642,214	

II 投資活動収支の部			
1. 投資活動収入			
① 基本財産取崩収入	(0)	(0)	(0)
投資有価証券償還収入	0	0	0
② 特定資産取崩収入	(5,000,000)	(4,687,103)	(312,897)
仁科記念奨励基金取崩収入	5,000,000	4,687,103	312,897
投資活動収入 計	5,000,000	4,687,103	312,897
2. 投資活動支出			
① 基本財産取得支出		(0)	
投資有価証券取得支出	0	0	0
預金支出	0	0	0
② 特定資産取得支出	(0)	(0)	(0)
投資有価証券取得支出	0	0	0
預金支出	0	0	0
投資活動支出 計	0	0	0
投資活動収支差額	5,000,000	4,687,103	312,897
III 財務活動収支の部			
1. 財務活動収入 計	0	0	0
2. 財務活動支出 計	0	0	0
財務活動収支差額	0	0	0
IV 予備費支出	500,000	0	500,000
当期収支差額	△ 770,000	3,059,317	△ 3,829,317
前期繰越収支差額	830,000	846,676	△ 16,676
次期繰越収支差額	60,000	3,905,993	△ 3,845,993

収支計算書に対する注記

1. 資金の範囲

資金の範囲には、現金預金、未収収益、前払費用及び未払金を含めている。尚、当期末残高は、下記2に記載するとおりである。

2. 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

(単位：円)

科 目	前 期 末 残 高	当 期 末 残 高
現 金 預 金	5,536,878	3,775,544
未 収 収 益	10,082	0
前 払 費 用	1,012,904	620,761
合 計	6,559,864	4,396,305
未 払 金	5,713,188	478,935
預 り 金	0	11,377
合 計	5,713,188	490,312
次期繰越収支差額	846,676	3,905,993

3. 収支計算書の予算・決算額との差異が著しい科目及びその理由

- ・ 基本財産利息収入、予算 990 万円に対して決算額 751 万円。これは円建て仕組債の円為替レートが円高に推移したことによる。
- ・ 寄付金収入、予算 600 万円に対して決算額 760 万円。これは故中根理事御遺族より 150 万円の寄付があったことによる。
- ・ 特別研究助成金支出、予算 150 万円に対して決算額 100 万円。これは仁科記念賞受賞者を 3 名(副賞一人 50 万円)を予算計上していたが、2 名の授賞となったことによる。
- ・ 仁科記念講演会費支出、予算 30 万円に対して決算額 77 千円。これは当初予定していた会場費が掛からなかったことによる。
- ・ 仁科記念奨励金支出、予算 700 万円に対して決算額 462 万円。これは 5 月に京都で開催された「仁科芳雄博士生誕 120 周年記念シンポジウム」の経費が少なく済んだことによる。
- ・ 役員報酬支出(助成事業及び管理費)、予算額合計 220 万円に対して決算額 120 万円。これは理事長の辞退による。
- ・ 給料手当(助成事業及び管理費)、予算額合計 430 万円に対して決算額 0 円。これは事務局員が契約に基づく他社からの派遣となり、勘定科目が「業務委託料」に変更となったことによる。業務委託料の合計額は 3,495,000 円になる。

- ・ 仁科記念文庫費支出、予算 30 万円に対して決算額 5,555 円。これは仁科記念文庫に係る、研究助成申請がなかったことによる。(平成 23 年度に実施)
- ・ 助成以外事業費の研究関連出版物刊行費支出、予算 120 万円に対して決算額 14 万円。これは仁科記念講演会講演録が執筆者都合により次年度に繰り延べられたことによる。
- ・ 管理費の旅費交通費支出、予算 85 万円に対して決算額 113 万円。これは臨時理事会・評議員会が 2 回あり、委員会出席者も多かったことによる。
- ・ 管理費の雑費支出、予算 80 万円に対して決算額 218 万円。これは前事務局員の徳永氏への解決金 150 万円の支出のため。

独立監査人の監査報告書

平成23年4月20日

公益財団法人 仁科記念財団
理事長 小林 誠 殿

宮田公認会計士事務所

公認会計士 宮田 芳 直



私は、公益財団法人仁科記念財団の平成22年4月1日から平成23年3月31日までの平成22年度の財務諸表、すなわち、貸借対照表、正味財産増減計算書、及び財産目録、並びに収支計算書（以下「財務諸表等」という。）について監査を行った。この財務諸表等の作成責任は理事者にあり、私の責任は独立の立場から財務諸表等に対する意見を表明することにある。

私は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、私に財務諸表等に重要な虚偽の表示がないかどうかの合理的な保証を得ることを求めている。監査は、試査を基礎として行われ、理事者が採用した会計方針及びその適用方法並びに理事者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表等の表示を検討することを含んでいる。私は、監査の結果として意見表明のための合理的な基礎を得たと判断している。

監査の結果、私の意見は次のとおりである。

- (1) 私は、財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して、公益財団法人仁科記念財団の当該財務諸表に係る期間の財産、正味財産増減の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。
- (2) 私は、収支計算書が、「公益法人会計における内部管理事項について」（平成17年3月23日公益法人等の指導監督等に関する関係省庁連絡会議幹事会申合せ）に従って、公益財団法人仁科記念財団の平成22年度の収支の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

公益財団法人仁科記念財団と私との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

監 査 報 告 書

平成 23 年 4 月 27 日



公益財団法人 仁科記念財団
理事長 小林 誠 殿

公益財団法人 仁科記念財団

監事 荒船 治 郎



私は、平成 22 年 4 月 1 日から平成 23 年 3 月 31 日までの平成 22 年度における会計及び業務の監査を行い、次のとおり報告する。

1. 監査の方法と概要

- (1) 会計監査について、帳簿並びに関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて、計算書類の正確性を検討した。
- (2) 業務監査について、理事会及びその他の会議に出席し、理事から業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて、業務執行の妥当性を検討した。

2. 監査意見


- (1) 貸借対照表、正味財産増減計算書及び財産目録、並びに収支計算書は、会計帳簿の記載金額と一致し、法人の財政状態、財産の変動、並びに収支の状況を正しく示していると認める。
- (2) 事業報告の内容は、事実であると認める。
- (3) 理事の業務執行において、不正の行為または法令もしくは寄付行為に違反する重大な事実はないと認める。

以上

監査報告書

平成23年4月20日

公益財団法人 仁科記念財団
理事長 小林 誠 殿

公益財団法人 仁科記念財団
監事 池田長生 

私は、平成22年4月1日から平成23年3月31日までの平成22年度における会計及び業務の監査を行い、次のとおり報告する。

1. 監査の方法と概要

- (1) 会計監査について、帳簿並びに関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて、計算書類の正確性を検討した。
- (2) 業務監査について、理事会及びその他の会議に出席し、理事から業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて、業務執行の妥当性を検討した。

2. 監査意見

- (1) 貸借対照表、正味財産増減計算書及び財産目録、並びに収支計算書は、会計帳簿の記載金額と一致し、法人の財政状態、財産の変動、並びに収支の状況を正しく示していると認める。
- (2) 事業報告の内容は、事実であると認める。
- (3) 理事の業務執行において、不正の行為または法令もしくは寄付行為に違反する重大な事実はないと認める。

以上